

患者さんの健康と幸せを第一に考え
患者さんと共に喜んでいける“愛情あふれる
アットホームな歯科医院創り”を目指しています。

発行者：いのまた歯科医院

■ 歯科健康情報 — 歯周病のお話 —

口の中だけじゃない！

歯周病は 怖い病気、生活習慣の 原因!?

近年、歯周病と全身疾患の密接な関係が明らかになってきました。歯周病の原因菌はお口から体内に侵入することで、様々な疾患発病リスクを高めます。

体内に細菌が侵入する経路のほとんどは口です。口腔内をきれいにし、歯周病を治療・予防することは、全身疾患の予防にも繋がります。気になることがあれば、お気軽にご相談ください。

認知症

歯周病予防による動脈硬化のリスク低減が認知症予防になります。

脳

虚血性心疾患

血液で心臓に運ばれた歯周病菌が血管に血栓を形成することでリスクが高まります。

心臓

誤嚥性肺炎

誤嚥によって歯周病菌が肺に入り、肺炎を引き起こします。

肺

肥満

歯周病菌が肝臓と脂肪組織に脂肪を沈着させることが原因とわかっています。

肝臓

糖尿病

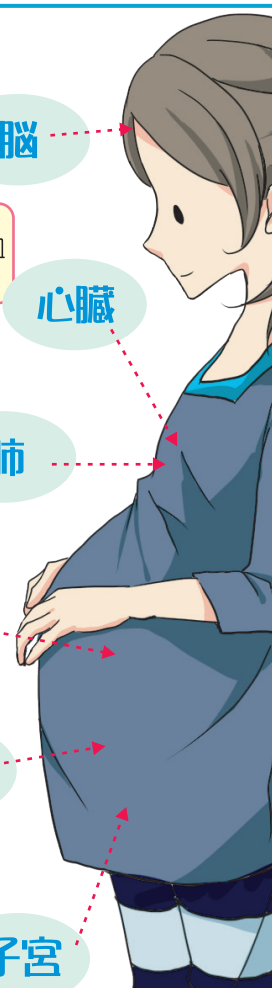
発病・重症化した歯周病が慢性炎症としてB型糖尿病を悪化させます。

すい臓

早期低体重児出産

歯周病菌の炎症により生産される物質が、胎児の早産や低体重児出産のリスクを高めます。

子宮



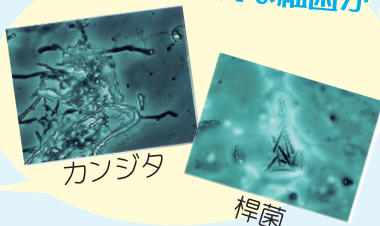
顕微鏡で 歯周病治療

位相差顕微鏡って？

「位相差顕微鏡」とは、生きたままの口腔内の細菌を、患者さん自身が画像で観察できるものです。画像を見ながら説明をいたしますので、ご自身の口腔内の細菌の事実を様々な角度から知ることが出来ます。



位相差顕微鏡で見ると
口の中にはこんな細菌が!!



効果的に治療できる

顕微鏡で口腔内にどんな菌がいるのかをきちんと特定し、それに合わせて、飲み薬や専用の歯磨き剤を処方しますので、効果的な治療（アドバイス）が可能となりました。歯周病治療・予防に、しっかりとした処置をとっていきましょう。

